

都市再生整備計画 事後評価シート
久留里地区

平成24年3月

千葉県君津市

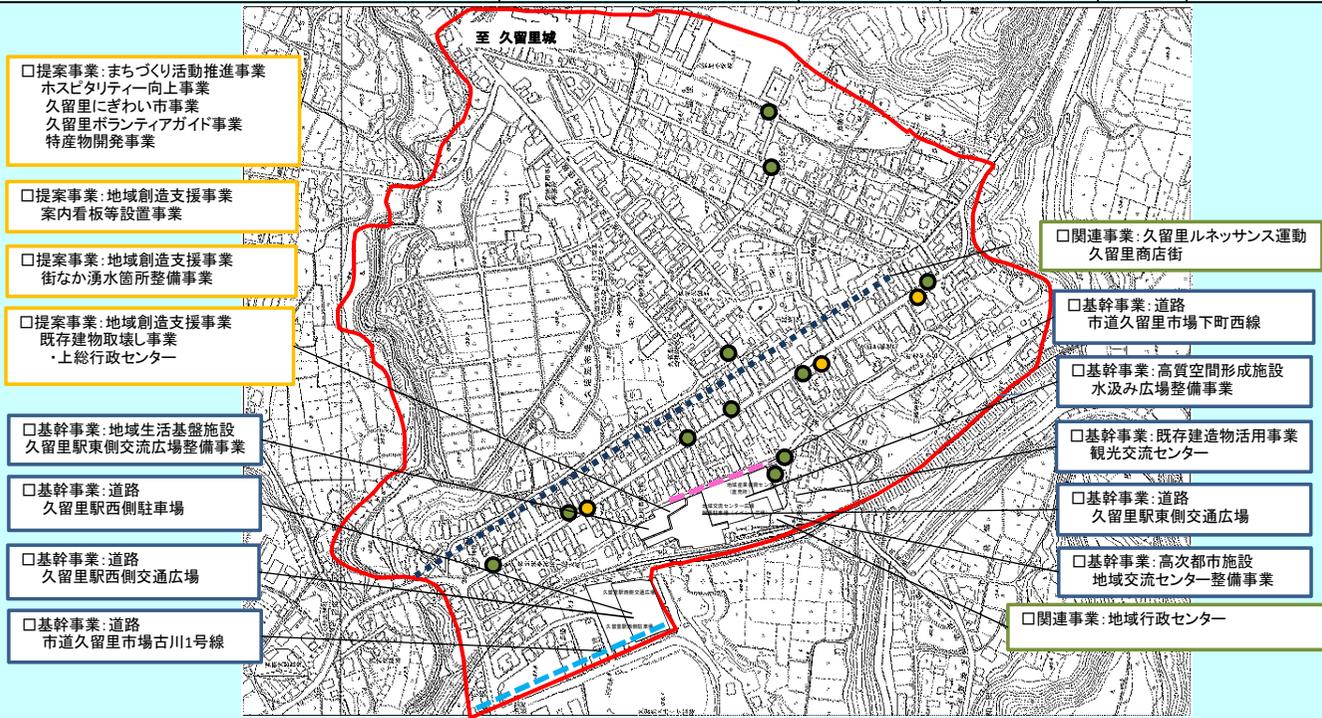
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県		市町村名	君津市		地区名	久留里地区			面積	44ha		
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	1144百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路(市道久留里市場下町西線、市道久留里市場古川1号線、久留里駅東側交通広場、久留里西側交通広場)、地域生活基盤施設(久留里駅東側交流広場、久留里駅西側駐車場)、高質空間形成施設(水汲み広場)、高次都市施設(地域交流センター)、既存建造物活用事業(観光交流センター)									
			提案事業	既存建物取壊し事業、街なか湧水箇所整備事業、案内看板等設置事業、ホスピタリティ向上事業、久留里にぎわい市事業、くるりボランティアガイド事業、特産物開発事業、伝統技能伝承事業									
	当初計画から削除した		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			基幹事業	なし			-			-			
	新たに追加した事業		提案事業	なし			-			-			
基幹事業			なし			-			-				
交付期間の変更		当初	平成19年度～平成23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
		変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	来街観光客数	人/年	41,000	平成17年度	49,000	平成23年度		49,100	○	あり なし	駅前広場の整備やイベントの増加により、観光客が大幅に増加した。	H24年5月頃
	指標2	来街者の満足度	%	11	平成17年度	30	平成23年度		73	○	あり なし	ホスピタリティ向上研修を行い、接客姿勢が向上され、満足度が向上した。	
	指標3	伝統工芸品製造技能者の養成	人	1	平成17年度	3	平成23年度		13	○	あり なし	黒文字楊枝技能者育成を目的とした講習会の開催により、製造技能者が増加した。	
指標4	地域活性化イベントの開催	回/年	1	平成17年度	6	平成23年度		6	○	あり なし	従来の久留里城祭りに加え、「久留里軒先にぎわい市」等計6回のイベントが開催された。	H24年5月頃	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他の数値指標2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他の数値指標3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場の整備を行うことによって、景観の向上が図られた。 道路の整備を行ったことで、交通の利便性が高まった。 イベントの数の増加や駅前広場の水汲み場を設置することで、住民と来街者との交流する機会が増え、賑わいが増した。 ホスピタリティ向上事業により接客姿勢が向上された。 												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング		交付期間中において各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実な成果を上げるため、市と君津市副次核推進対策協議会が協働して、毎年、事業成果について評価や事業の進め方の改善策等を協議。		都市再生整備計画に記載し、実施できた		●		同様に、毎年1回協議を実施する。				
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
住民参加プロセス		ホスピタリティ向上のための講習会などを開催。地域の特産物を販売する久留里にぎわい市を開催。観光客を案内する久留里ボランティアガイドを実施。		都市再生整備計画に記載し、実施できた		●		今後も住民参加プロセスを実施して、観光客誘致や地域活性化につなげる。					
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した											
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											
持続的なまちづくり体制の構築		自治会連合会、久留里商店街振興組合、上総観光協会、商工会議所女性部、JAきみつ女性部、久留里の水を守る会等の団体から選出された委員で組織される団体により、事業終了後も継続して活動できる体制を構築。		都市再生整備計画に記載し、実施できた		●		市民と各団体が主体となるまちづくりの活動ができるよう今後も継続して支援していく。					
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した											
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											

様式2-2 地区の概要

久留里地区(千葉県君津市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 城下町の街並みを活用し、交通環境等の改善により市民と観光客の交流拠点を創出する。 目標1: 市民の生活拠点としての機能を高め、市内の地域拠点としての賑わいを再生する。 目標2: 生きた水の里、城下町としての観光資源を強化し、観光客を誘致することで地域振興を図る。 目標3: 駅前の交通広場や駐車場を整備することで、交通結節機能を強化し交流を促進する。	来街観光客数	単位: 人/年	41,000 H17	49,000 H23	49,100 H23
	来街者の満足度	単位: %	11 H17	30 H23	73 H23
	伝統工芸品製造技能者の養成	単位: 人	1 H17	3 H23	13 H23
	地域活性化イベントの開催	単位: 回/年	1 H17	6 H23	6 H23



- 整備対象地区
- 久留里商店街
- 街なか湧水箇所整備
- 案内看板等設置整備
- 市道久留里市場下町西線
- 市道久留里市場古川1号線

まちの課題の変化

- ・久留里駅東西の駅前広場の整備を行ったことで、観光客の来街しやすい環境が整い、イベントの増加により観光客が増えた。また、地域住民の生活拠点の形成にもつながった。
- ・久留里駅前に、誰もが利用可能な「生きた水」の水汲み場の設置。また、久留里城祭りに加え、「落語フェスティバル」「食の文化祭」「久留里軒先にぎわい市」「新酒まつり」のイベントの開催が増加した。その結果、観光客の来街目的が増え、賑わいを創出することができた。
- ・食文化の振興に関わる様々な団体や個人と協力・協働し、地元の食材を使った郷土色ゆたかな料理・おみやげ品等の開発を目指し、「食べて元気 ふるさとの料理 食の文化祭」を開催が実現した。
- ・久留里の玄関口である駅前広場の整備によって、景観の向上が図られた
- ・観光交流センターの設置に伴い、来街者と住民との交流の機会を創出することができた

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・交通結節機能の強化や、観光客が参加できるイベント等を持続して行っていくことで、観光客の拡大を図り、新たな賑いを創出する。具体的には、駅前広場を活用した観光客と地元住民の交流ができるイベント等の開催や、商店街の活性化に向けた取り組み
- ・久留里駅西側交通広場及び市道久留里市場古川1号線の整備は、千葉、東京方面へ向かう高速バスの発着所として久留里駅の交通結節機能を担う。そのため、久留里駅西側駐車場、及び久留里駅東西を結ぶ連絡通路を実施することにより事業効果が発揮されることから、早期に事業着手することが望ましい
- ・駅前のイベント開催とともに、商店街の空き店舗を活用した事業の実施
- ・食文化の振興に関わる様々な団体や個人と協力・協働する地元の食材を使った郷土色ゆたかな料理・おみやげ品等のより充実を図り、商店街における一層の経済効果の創出
- ・久留里の玄関口(駅前広場)のみでなく、今後は久留里商店街の電線地中化や久留里城を中心とした街なみ景観モデル事業の推進により更なる景観の向上を図る
- ・最終年度に行ったアンケートの結果から、久留里に求められているまちづくり方策として「魅力のPR」があげられたため、広報活動を強化する必要がある。